

平成 2 1 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 登別観光協会特別助成金（衛生設備整備事業分）
-------------------	-------------------------------------

区分	番号	名 称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	1	魅力ある観光地づくり
小分類	1	ときめきと感動のある観光地づくり
主要な施策	2	観光客のニーズに即応できる受入体制の充実
事務事業番号	004	事務事業コード 31112004 事業開始年度 平成 1 7 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	観光衛生整備事業補助金
------	------	------------	-------------

部 名	観光経済部	グループ名	観光室 観光振興 G
-----	-------	-------	------------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

**事務事業の目的と成果**

対象	<p>（何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください）</p> <p>登別温泉地区にある専用水道施設を設置している旅館・ホテル</p>
手段（事業の内容・活動）	<p>（目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください）</p> <p>旅館・ホテルに設置している専用水道施設の衛生設備整備事業に対して補助金を交付し、事業を支援する。</p> <p>H 2 1 3 件予定 未実施</p>
目指す姿（成果）	<p>（事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください）</p> <p>観光客や従業員が安心して滞在できる環境を整備するため、ホテル等の専用水道施設の促進を図る。</p>
根拠法令等	<p>（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください）</p> <p>登別市観光衛生施設整備事業補助金交付要綱</p>

**指標の推移**

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	実施件数	件	目標値	3	2	1	0	0
			実績値	0				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	0	13,000	0	18,000	0	18,000
合 計				0	13,000	0	18,000	0	18,000
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	86	90			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		86	90			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 専用水道施設の衛生施設整備の促進を図り、当地を訪れる観光客が安心して滞在できるよう、市が実施することは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 要綱では専用水道施設の衛生施設の整備費用の一部を助成することとしているが、設備の整備は当事者負担が大きいことから、実施が先送りとなっている部分がある。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 観光客の健康上安全な飲料水を提供するために、未実施の旅館・ホテルに事業の実施を促す。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 設備の整備には当事者の負担が大きいことから、実施が先送りとなっている部分がある状態である。既にこの要綱で実施している旅館・ホテルがあることから、現時点では要綱を変更し金額を削減することはできない。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	専用水道施設の衛生施設整備の促進を図り、当地を訪れる観光客が健康上の被害を受けることがないよう、当初の要綱どおり市が実施する。 なお、3件の旅館・ホテルが実施することで事業終了となる。
----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）